

分科会開催報告書

報告日 令和2年 10月 2日(金)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 140回浮雲俳句会
開催日時 令和2年 9月 27日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員	男11名 女6名 合計17名 欠席者0名

実施内容

第140回例会は、兼題①鶴ヶ城②宗教(中秋)。他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、太田重九会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞と、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	世阿弥忌も人疎らなる金閣寺	三 旦
地賞句	松虫やソロはお任せコーラス部	勇 平
人賞句	葡萄食ふ一粒づつの黙有りて	重 九
特選句	幼き日友とはしごの村祭	一 柷
	背に夕日父に似てゐる秋遍路	あきえ
	過疎なれど田の神御座す秋祭	和 女
	新走り猪口に残りし紅のあと	二 祥
	嫁ぐ娘の思い出尽きぬ夜長駒	春 駒

会員高点句

9点句	葡萄食ふ一粒づつの黙有りて	重 九
6点句	秋光を弾く波の穂小柴沖	祥 代
6点句	秋草や幽かに揺れて風に雨意	祥 代

次回の予定

令和2年11月29日(日) 午前9時30分～午前11時30分

「第141回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—

第141回例会は、兼題①姫路城②動物(初冬)。他に当季雑詠2句。合計4句。

披講 大谷二祥会員